

メロディラインが整い、叙情味あふれるフローレスデュオの曲——
あたたかく絶妙のハーモニーが、弦楽の調べにのって、聴く者を魅了する
感動の世界に、ようこそ

出演者紹介



アンサンブル・アルモニ

2000年に弦楽奏者有志が集まり、吉岡邑玲氏の指導のもと結成。弦楽器だけで表現される繊細で味わい深い音楽で、レパートリーはクラシックはもちろん、映画音楽・ポップス・民謡・アニメ音楽に至るまであらゆるジャンルにわたる。大阪府箕面市を拠点として、音楽の楽しさを届けるため、京阪神各地で活動している。



Flórez Duo (フローレス・デュオ)

南米のペルー、インカ帝国の古都・クスコの出身。30年前に来日し、大阪府豊中市を拠点に、日本各地で音楽活動を展開してきた。南米の伝統音楽・フォルクローレを基礎にした彼らの音楽は、卓越した演奏技術と人間性あふれる歌声、兄弟ならではの美しいハーモニーが、世代・国境・文化の違いを超えて、私たちのところに届く。



吉岡邑玲(ヴァイオリン)



久保比呂誌(三味線・ピアノ)

【アンサンブル・アルモニ】

アルモニは、フランス語でharmonie(英語ではharmony=ハーモニー)のこと。団員たちはさまざまな背景と日常のなか、その名の通り音楽によって集い、目標を同じくしながら演奏力の向上とともにメンバー同士の調和も大切にしている。

【吉岡邑玲】

4歳よりヴァイオリンを始め、ソロや室内楽、オーケストラなど、奏者として、また指導者として幅広く活動している。演奏を通じて、音楽することの喜び、共感することの大切さを伝えている。



Jesús Flórez(ケーナetc.)



Fredy Flórez(ギター etc.)

【久保比呂誌】

故・初代高橋竹山師の「津軽じょんから節」に感銘を受けて、竹山師本流継承者、田中竹仙に入門。現在は、作曲活動を中心に、「津軽三味線とピアノ」を演奏する独自のスタイルで活躍している。

【Jesús Flórez(ヘスス フローレス)】

6人兄弟の末っ子。幼いころから音楽にふれ、学校バンドでギター演奏とリードヴォーカルを務める。チャランゴ・ケーナ・サンポーニャなど、多くの楽器を演奏するマルチプレーヤー。

【Fredy Flórez(フレディ フローレス)】

6人兄弟の次男。大学のときアコースティック音楽を始め、民族音楽にも興味を持つ。1990年プロ活動開始。現在は、作詞・作曲・編曲をし、色々なミュージシャンとのコラボなど、幅広く活動中。

Program(予定)

- G線上のアリア (J. S. Bach)
- セントポール組曲 Op. 29 (G. T. Holst)
- Q'apac wasi (El palacio)
- Dulzura
- Sueña
- Flor de fuego (花火)
- Pollerita de algodón

■大阪中央公会堂アクセス



Osaka Metro

- ・御堂筋線【淀屋橋駅】
1番出口より徒歩約5分
- ・堺筋線【北浜駅】
26番出口より徒歩約10分

京阪電車

- ・本線【淀屋橋駅】
1番出口より徒歩約5分
- ・中之島線【なにわ橋駅】
1番出口より徒歩約1分